



## あけましておめでとうございます

26年がスタートしました。新しい年の始まりは何か素晴らしいことがおこりそうな期待感でいっぱいになりますね。子ども達にとって、毎日が成長と変化の連続です。一人一人との関わりを大切にしたい保育をし、のびのびと健やかに成長することを願い、職員一同子どもたちと充実した日々を過ごして行きたいと思っております。本年もよろしくお願ひします。

これから本格的な寒さが到来します。戸外で体を思いきり動かす遊びを取り入れ、風邪に負けない、強い体づくりを目指して過ごしたいと思っております。乳幼児は抵抗力が弱く、体温の変動が大きいので、湿度・衣服の調節や水分補給は大切です。また、大人と同じように夜更かしになりがちですが、規則正しい生活をするようにしながら、元気にこの冬を乗りきりましょう。



- 8(水) 新年会
- 9(木) 調理保育(ことり組)
- 10(金) 調理保育(はな組)
- 14~17 身体測定
- 16(木) 行動観察
- 17(金) 継続申請出張受付 16:00~19:00
- 21(火) 幼児体育指導
- 23(木) ドッチボール大会
- 24(金) 誕生会
- 28(火) 避難訓練
- 28(火) 絵画指導

## 2月の予定

- 3(月) 豆まき
- 15(土) 発表会
- 18(火) 調理保育(つき組)
- 17~21 身体測定
- 19(火) 幼児体育指導
- 20(木) 長寿会
- 21(金) 誕生会
- 25(火) 避難訓練
- 27(木) 絵画指導
- 28(金) お別れ遠足



## クラスより

### ●ひよこ組

寒さが厳しくなりましたが、子どもたちはとても元気いっぱいです。最近のひよこ組さんのブームは、「ままごとあそびです」テーマに、いっぱいのお皿を並べたら、次はレンジ台に行っておちそうを作ってくれます。使ったお皿は、保育士お手製の水道コーナーで洗ってくれます!! 毎日、お母さんの様子をよく見ているのですね。「ケーキだよ。リンゴも食べる?」「かいもん(かいもの)いく?」などお友達同士の会話も増えてきて、成長を感じると共にほほえましい瞬間です。そんな子どもたちは、お店屋さんごっこでもお財布を持って、欲しいものを選び、自動販売機のアンパンマンジュースに心躍らせ、買い物を楽しんでいます。これから寒い日が続くと思いますが、寒さに負けず楽しく元気に遊びたいと思います。

### ●うさぎ組

あけましておめでとうございます。今年度もあと3か月となりました。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

毎日ピアノの伴奏に合わせて季節のうたなど4~5曲うたっています。今までは、好きに歌っていたのを「きれいに」歌おうと促しはじめました。見本で歌ってみせると、皆でじ〜と真剣に聞いて真似してみようと頑張っています。生活発表会で可愛いうたごえをきいて頂ける、はず?です。また友達同士の関わりが増え、鼻水がでている友達に「はなみずでてるよ。」と教えたり、それを聞いてboxティッシュへ走りペーパーを「はい!」「ありがとう!」というやりとりも見られます。素敵な気遣いや助け合う場面にも成長をひしひし感じています。寒いですが、どんどん外へ出て、寒さに負けない身体作りをしていこうと思っています。



### ●ことり組

12月中頃より、いよいよお当番活動を取り入れ始めました。各グループから1人ずつ、お当番になり、給食の配膳のお手伝いをしています。フォークを配ったり、コップを配ったり…。お当番になるといつもより素早く着替えを済ませて、いつも以上に丁寧に手を洗ってはきき取り組んでいます。お当番さんに配ってもらおうと「ありがとう」とお礼を言ったり、「まだ、こないよ」と教えてあげたり、子どもたち同士のやりとりも見られ、とてもほほえましいです。

いよいよ寒さも本格的になり感染症の流行も心配な時期になりました。体調管理に気をつけながら、ことり組の子どもたちらしく、心も体も元気にこの冬を乗り切りたいと思います。

### ●はな組

12月よりつき組さんが今まで行っていた布団敷きのお手伝いを、はなぐみが少しずつ引きつぎ行っています。向きをそろえたり間をつめたりということもやっていくうちに覚えてきた様子。給食時のお当番活動と並び子どもたちの楽しみになってきたようです。また、現在体育指導で縄跳びを行っています。両足をそろえて跳んだり縄をまわしたりと少しずつ段階を積み重ねていき「続けて跳べるようになる」という目標にむけて練習中です。「あと少しでコツがつかめそう!」励ましながら個々と関わっていかうと思っています。

### ●つき組

寒くなってきましたが「外は、いきたくな〜い」と言う子は1人もいない元気いっぱいのつき組です。体育指導でのなわとびは、なかなか飛べなかった子ども達が、自由あそびになると進んで練習をする姿が多くみられ、今では30回以上飛べるようになり、後ろ飛びや、あやとびなど色々な飛び方にもチャレンジしています。来月からは逆上がりにも挑戦します。

保育園生活も残り3か月となりました。子ども達と、これからもあきらめないで色々な事に挑戦していけるよう、できたことを喜び合いながら取り組んでいきたいと思っています。

## 言葉の力を伸ばすのは子どもの好奇心

言葉が話せるようになると、子どもの関心は文字に向かいます。このころの子どもは、「なぜ?」でいっぱいです。好奇心の問いかけには、勉強ではなく、楽しさで応えたいものです。



### 言葉の成長は急がせなくても大丈夫

小学校に入学するまでに、ほとんどの子どもはひらがなの読み書きができるとあって、文字の習得を急ぐお母さんもいます。しかし、子どもは本来、好奇心旺盛なものです。周りが急がせなくても、次第に文字を書いたり、読んだりすることに興味を示すようになります。

文字を教えよう、読み書きさせようと思わず、絵本をいっしょに読んだり、子どもが「自分の名前を書きたい」「この字はなあに?」と言ったときに教えるなど、子どもが楽しく文字を覚える手伝いをしてください。

### ともに考え、ともに喜んで

一つ言葉が読めるようになったら、ついで次と進めたいのが親心でしょう。でも、まずは「読めたこと」、それを子どもといっしょに喜んでください。子どもの中に手ごたえ、達成感があれば、次の課題に自分で向かっていけるものです。

### 読み聞かせは「読ませる」ためではない

文字に興味が出てきたら、一緒に絵本を読むのもよいでしょう。ただし、読み聞かせは文字を学習させるためではありません。絵本そのものを、いっしょに楽しみましょう。

- ・絵や言葉の内容とともに、お母さんが読む調子も、言葉の理解を助けます。自分も楽しんで読むと、言葉の雰囲気が出るでしょう
- ・子どもなりに独自のストーリーをつくったり、物語の展開に疑問をもったりします。文字の読み書きにこだわりすぎると、子どもは物語を楽しむ余裕がなくなってしまいます。
- ・お母さんが物語をどんなふう感じているか、子どもはお母さんの表情からも感じとります。「つまらないけれどためになる(であろう)本」を読むよりも、何でもいろいろ試してみましょう。



### 読みたい、書きたいを手助けする

子どもの身の回りには、文字がたくさんあります。自分なりに文字の読み方を推理したり、読めない文字を知る楽しみを手助けしましょう。

- ・自分の名前や好きなものの文字を読んだり、保育園で自分の名前を書いたりなど、子どもが自発的に文字を学ぶきっかけはたくさんあります。
- ・「興味を持ったときが教え時」というのは、この時期にはまだもう少し待って。時にはともに考え、発見の喜び、達成感を存分に味わわせてあげましょう。